千葉市新庁舎整備基本設計方針（案）の検討状況の概要

資料１

１　新庁舎の配置場所

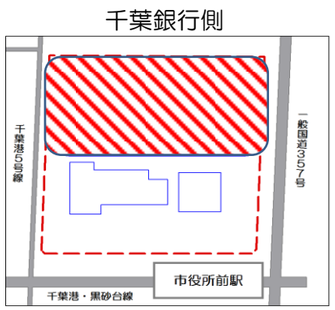
資料２－１
資料２－２

〇基本計画で示した３つの配置場所のメリット・デメリットを整理し、新庁舎の配置場所を決定します。

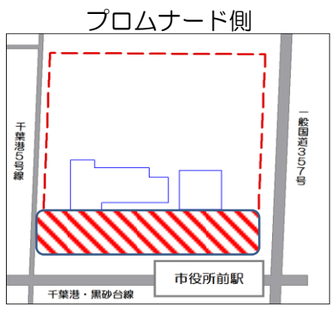
〇メリット・デメリットの整理にあたっては、
- 新庁舎整備の基本理念との整合
- 配置場所による施工性・建築計画の違い
- 本庁舎敷地の有効活用

の観点から評価を実施します。

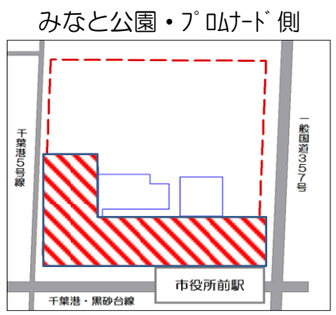
配置場所１



配置場所２



配置場所３



２　空間構成の考え方

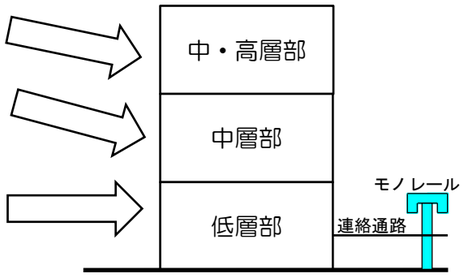
〇新庁舎における諸室のゾーニングや基準階の考え方などを整理します。

(1) 諸室のゾーニングの検討

資料３

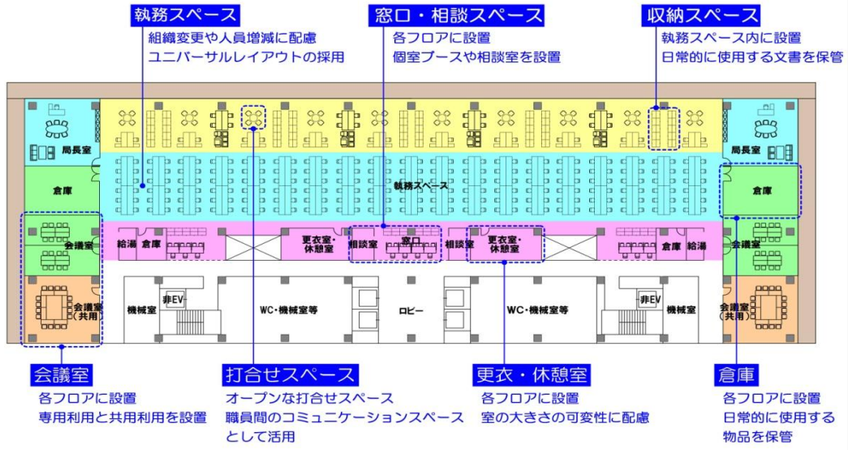
来庁者の利便性向上を図るため、諸室のうち、市民や事業者などの来庁者が多い機能は、来庁者が利用しやすい低層部に配置します。

- 一般執務室（窓口利用が少ない）
- 危機管理センターなど
- 一般執務室（窓口利用が多い）
- 総合案内
- 市政情報室など



(2) 基準階の考え方

基準となるフロアは、執務室に加え、窓口・相談スペースや会議室等の各室を下図の考え方により配置します。



(3) 本庁業務のワンストップ性の考え方（あるべき姿２ア）

資料４

執務室の性質を、フロントオフィス・バックオフィスに区分し、
- 窓口の集約化による来庁者の利便性
- 職員の業務効率性の向上などの機能性
- 非常時における防災拠点性
- フロントとバックの割合変化への対応　　など

基本計画に定める各機能に配慮するためのゾーニングを検討します。

(4) 議会のゾーニングの考え方

調整中

基本計画をもとに、現在調整中。

３　新庁舎規模等の検証

〇新庁舎規模の見直しのほか、必要な駐車場・駐輪場台数の考え方を整理します。

(1) 新庁舎規模の見直し

検証中

基本計画における算定結果を検証するため、
- 執務室アンケート調査
- 会議室利用実態調査等

を行うことにより精査しています。

調査結果を検討し、各面積を再設定します。

区分	面積(㎡)
執務面積	17,100
議会面積	2,250
作業面積	7,900
共用面積	4,700
設備面積	4,250
交通部分	13,800
合計	50,000

(2) 駐車場及び駐輪場の規模

検証中

ア　駐車場

駐車場台数は、来庁者用駐車台数については利用実態から算定した台数（２００台）とし、公用車駐車場については現状台数程度（２００台）を確保するものとし、合計４００台を想定します。

なお、災害時における物資の集積場としても活用できるよう、大型作業車両等の運行に耐えるよう配慮します。

イ　駐輪場

駐輪場台数は、現状台数を確保するものとし、２４０台（自転車２００台・バイク４０台）を想定します。

４　事業費の検証

〇基本計画で算出した事業費について見直しを行うとともに、維持管理費用についても検討を行います。

(1) 事業費の検証

検証中

基本計画で算出した事業費について、他市事例や建設物価の動向等社会経済情勢を勘案し、事業費の精査を行います。

総事業費	約２９８億円

(2) 維持管理費等の算出

検証中

他市事例や民間事例等を勘案し、新庁舎における維持管理費や光熱水費などの試算を行います。